令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

R7仮申請時に作成・提出した内容と同じ内容を転記してください。
※R7交付申請時に変更した場合
R7交付申請時作成・提出した内容と同じ内容を転記してください。

都道府県名	13_東京都
市区町村名	13307檜原村
自治体区分	都道府県

選択してください。

令和７年度の実績値等を入力してください。

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組 ※交付申請時に変更した場合は、これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
13307檜原村	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習等を行う習慣がない児童が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通課題となっている。	・保護者に「放課後学習教室」の必要性を周知し、多くの児童に参加してもらう。 ・地域、学校との連携を深め、学習支援員を確保し、地域未来塾で実施している「放課後学習教室」の実施日数を前年度より5日以上増やす。	保護者に「放課後学習教室」の必要性を周知し多くの児童に参加してもらう。 ≪参考≫ ※R5参加率67%、R6参加率69%（前年度比＋2%）	学校以外で日常的に学習を行う児童が増える。	「放課後学習教室」に参加し学校以外で学習する児童の割合	69	%	71	46	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・地域や学校との連携を深め、学習支援員を確保することができたが、「放課後学習教室」の実施日数を前年度より5日以上増加させることはできなかった。 ・保護者に放課後学習教室の有効性を周知したが、参加児童数は少なく、目標を下回る実績値となった。 ・次年度も学習支援員を確保し、保護者へ本事業の必要性を周知することで、参加児童数や学校外で日常的に学習を行う児童の増加につなげていきたい。	https://www.vill.hinohara.tokyo.jp/0000002154.html